



森づくりサポーターニュース

平成29年(2017年) 9月15日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
 メールアドレス biwako@moridukuri.info URL http://www.moridukuri.info

森の生長ならびに生態系に合わせた 利活用と管理方法を考える(2)

前号から始めたシリーズの第2回は、「出会いのゾーン」6.80haです。

出会いのゾーンは、一番南側で浜街道(滋賀県道26号大津守山近江八幡線)に接し、北は国道477号幸津川洲本バイパス予定地までの約500mの間になっています。浜街道側の一番幅広いところに、周りにケヤキをモニュメントのように並べた、凸レンズの表面のような丘陵の円形芝生広場と駐車場を設置しています。芝生の丘には暗渠は通っていますが排水が悪く、現状の勾配より緩やかにはできなかったようです。また、浜街道・芝生の丘間の芝地のくぼみに造っていた泉を復活し、地下水を汲み上げて短い流れを水路につないでいます。水面が少しきれいになる程度ですが、今年から夏の間だけ流すことになりました。



出会いのゾーン



円形広場から北(琵琶湖方面)を望む

浜街道下のボックスカルバートから、外部の排水や雨水が園内に流れ込む水路が、時計回りに曲がりながら北に下り円形広場を離れると、東は丘に西は山になっています。丘には今年の一部ヒマワリを植えましたが、今後は数多く植えて面で表現でき、かつ管理しやすい草木が考えられないかと思っています。西の山の標高99mで守山一高い山は、「モリモリ山」と命名され、4月にはエドヒガン(さくらの一種)が満開になります。クヌギの実もたくさん採れますが、他のゾーンに先駆けて、マテバシイの実もでき始めました。植樹後10年が経ち、木々も随分大きくなって適切な間伐がますます必要になってきました。

このゾーンの森づくりのテーマは、浜街道を表側と見立て、「エントランス(入口、玄関)・シンボルエリア」として多様な森へ誘い、人と森が出会う場としています。ゾーンのイメージは、円形広場が鳥獣の目のようなランドマーク(地上の目印)になって目立ちますが、その北にあるモリモリ山や森の中の樹冠を観察できる陸橋や展望台、水路に架かったつり橋など起伏があって変化に富んだ森の中を歩くことも楽しいのではないかと思うとともに、もっとPRをする必要性を感じています。



モリモリ山山頂から陸橋を見下ろす



吊り橋から東(丘部分)を望む

「びわこ地球市民の森」に生育する植物 ～「生きもの調査」結果報告～

森づくり活動や森の利活用を適切に行い、生きものとの共存を目指す生物多様性豊かな森を育てるため、平成28年度春から秋にかけて植物調査を実施しました。調査は、出会い・里の森・ふれあい・つどいの各ゾーンでは植生調査（草本類を対象）、ふるさとゾーンでは植物相調査（樹木と草本類を対象）を行いました。植生調査はコドラート調査や現地踏査、植物相調査は毎木調査（樹木）と群落調査（草本類）の方法により実施しました。

植生調査（出会い・里の森・ふれあい・つどいのゾーン）

ヨモギ、チガヤ、スイバ、スギナなどの在来種
セイタカアワダチソウ、ヒメジョオンなどの外来種 **41科159種確認！**

○在来種はふれあいゾーン 外来種は里の森ゾーンに多い
※コドラート調査による(2m四方の方形区内に生育する植物を調査、調査地点は49点)



スイバ

植物相調査（ふるさとゾーン）

樹木調査（胸高直径5cm以上の自生木と非自生木(植栽木) 530本調査）
（調査項目：種名、胸高直径、樹高、健全度等）

エノキ、ムクノキ、クロマツ、クヌギなど **36種の樹木を確認！**

○自生木31種、非自生木(植栽木) 16種(重複種11種)
○エノキ、ムクノキの自生木は健全度が高い

草本類調査

59科、200種を確認！

4㎡を超える植物群落：9種

- ①オオフサモ(特定外来生物)、②ヨシ、③オギ、④チガヤ、⑤キシウズメノヒエ
⑥クサソテツ(コゴミ)、⑦ヒメガマ、⑧コセンダングサ、⑨メヒシパーアキノエノコログサ



健全度が高いエノキ



チガヤ群落



クサソテツ(コゴミ)群落

確認された重要種 6種

(国・近畿・県のレッドリスト、レッドデータブックによる)

- ①コブシ、②タコノアシ、③ミゾコウジュ
④カワヂシャ、⑤ノニガナ、⑥マツカサススキ



ミゾコウジュ



カワヂシャ



マツカサススキ

確認された主な外来種 7種

- ①オオフサモ(特定外来生物)、②シロツメクサ
③セイヨウタンポポ、④セイタカアワダチソウ
⑤ヒメジョオン、⑥コメツブツメクサ、⑦シマスズメノヒエ



シロツメクサ



ヒメジョオン

調査結果を踏まえて

1. 重要種の保全

○ノニガナ、タコノアシ、カワヂシャなど重要種の保全が必要

2. 在来の多年生草本類の生長促進

○里の森ゾーンを中心に外来種が増加しており、多年生在来種の生長促進が必要

3. 外来種の抑制防除

○ふるさとゾーンの水辺に蔓延する特定外来生物オオフサモを中心に外来種の抑制防除を検討

4. 樹木の保全

○樹木の生長に伴い、低中高木の多様な階層構造を有する森の保全と育成

5. 美しい景観の創出

○スミレ、ムラサキサギゴケ、チチコグサなどの植物やチガヤ群落を増殖し、花と草地景観を創出



ノニガナ



ムラサキサギゴケ

第2回

「森づくりサポーター活動」

平成29年7月22日(土)、梅雨が明け真夏の太陽が照りつける中、今年度2回目となる「森づくりサポーター活動」が開催されました。

当日は、サポーター79名、ガールスカウト20名、計99名の皆さんが参加され、間伐や枝落とし作業、自然教室やクラフトづくりなどの活動を行いました。

間伐・枝落とし作業では、サポーターの皆さんが、出会いゾーンの平成19年(2007年)植栽地で、ヤマザクラ、ヤマモミジなど混み合った樹木や枝の伐採を行い、作業後は明るい光と気持ち良い風を受け、緑の木々が一層元気そうにみえました。



開会式の様子



間伐・枝落とし作業

一方、ガールスカウトの皆さんは、中村寛先生の指導のもと、ネイチャーゲーム「カモフラージュ」で森の中に予め隠しておいた色や大きさの異なる物を探し、生きものが外敵から身を守る様子をゲームで楽しんだり、色々な葉っぱを集め形や大きさを観察しその動きを学んだりして、生きものの不思議さや新しい発見に興味津々でした。また、自然教室のあとは、間伐材で動物のクラフトづくりを楽しみました。



隠れている物探し



葉っぱのお勉強



クラフトづくり

活動後は、参加者全員でスイカを賞味し、そのあとガールスカウトの皆さんでスイカ割りに挑戦しました。

当日は暑い日でしたが、無事活動を終わることができ、ありがとうございました。次回のサポーター活動は、平成29年10月22日(日)に予定しています。多くの皆さんのご参加お待ちしております。



スイカ割り

森づくりボランティア団体「ふくの会」 「全国みどりの愛護のつどい」で、感謝状を受賞!!

平成29年6月10日に石川県金沢市で開催された第28回「全国みどりの愛護のつどい」で、森づくりボランティア団体「ふくの会」が、森づくり活動の功績に対し国土交通大臣より感謝状を授与されました。

「ふくの会（現在11名登録）」は、レイカディア大学園芸学科29期の皆さんが、びわこ地球市民の森で「森づくり」の活動を行う団体として平成20年（2008年）に登録され、「レイカディア大学園芸学科の卒業生が森づくりボランティア団体に登録する」という流れを創りました。

登録から10年近くなり、メンバーの皆さんは、できる範囲で、無理なく、楽しみながらクラフトなども含めた「森づくり」に協力していただいております、助言や提案などもお願いしています。



森の手入れ(間伐)作業中 担当地:つどいのゾーン地球広場東側(2001年~03年植樹)

お知らせ

第3回森づくりサポーター活動のご案内

秋たけなわの絶好の季節に、今年度3回目のサポーター活動を開催します。

今年も早めに活動を終え、今浜自治会主催の「コスモス祭り」に参加し、コスモス畑を鑑賞後、美味しい豚汁をいただくことになっています。

多くみなさんのお越しをお待ちしています。



- 開催期日 平成29年10月22日(日)
- 開催場所 びわこ地球市民の森(つどいのゾーン)
- 活動内容 植栽地の育樹活動と自然教室など



編集後記

暑かった夏も終わり、本格的な秋のシーズンがやって来ました。

森づくり活動や森の利活用に絶好の季節です。

多くの皆さんのお越しをお待ちしています。



森のデータ

森の面積	42.5ha
森の延長	3.2km
森の幅	100 ~ 200m
植樹面積	80,808㎡
植樹期間	H13 ~ H25
植樹活動参加者数	45,994人
植樹本数	160,967本
森への利用者数(H28)	168,592人
森づくり活動参加者数(H28)	7,029人
内サポーター活動参加者数(H28)	2,518人